

メンタルヘルスの新しい風

岐阜県臨床心理士会 産業領域委員会では、メンタルヘルスの専門家をお招きして、企業のメンタルヘルス担当者の方向けに、実務に役立つメンタルヘルスに関する継続研修会を開催いたします。
お申し込み方法は裏面をご参照ください。

岐阜県臨床心理士会

第1回 新型うつ

講師 鈴木國文(名古屋大学医学部保健学科)

1952年静岡県生まれ。名古屋大学医学部卒業。同附属病院にて精神科研修の後、静岡県立病院養心荘、松蔭病院の二単科病院に勤務。マルセイユ大学病院精神科外人助手、京都大学保健管理センター助手、同講師、名古屋大学医学部附属病院講師を経て、1998年、名古屋大学医学部保健学科教授。
現在、キャノン・マーケティング・ジャパン、電通・中部支社の産業医も併任。

2012年9月30日(日)
13時30分～16時30分(13時開場)

ハートフルスクエア G 研修室 50
参加費 3000円

この20年ほどの間に現れた新しいうつ病概念について、その変遷と時代的背景についてお話していただいた上で、事例に基づき、新型うつの理解と対応について皆さんと考えます。



第2回 復職支援

講師 市川佳居(ピースマインド・イーブ株式会社)

早稲田大学第一文学部卒業後、米国メリーランド州立大学にてソーシャルワーク修士課程修了。ロサンゼルス市でサイコセラピストとしてカウンセリングに従事。帰国後、モトローラ株式会社にてEAPを導入。以降、日本におけるEAPの草分け的存在として、その導入・発展・標準化、EAPコンサルタントの育成などに尽力。2002年に株式会社イーブを設立し、企業・組織へのEAP導入に努める。2008年より現職(副社長)。医学博士(杏林大学)。著書に『EAP導入の手順と運用』など多数。

2012年11月3日(土)
13時30分～18時00分(13時開場)

じゅうろくプラザ 小会議室
参加費 3000円

精神障害で休職した従業員の復職を支援するには手順が必要で、社内の窓口担当者の役割、休職者への支援、職場環境調整についての基本的な流れや、対応の難しい事例への対応のコツをお話しいたします。

第3回 集団認知行動療法

講師 城月健太郎(東海学院大学)

2010年早稲田大学大学院人間科学研究科 人間科学専攻 臨床心理学研究領域博士後期過程を修了し、博士(人間科学)の学位を取得。不安障害、職場のストレス、認知行動療法を専門領域として、現在、東海学院大学人間関係学部講師のほか、岐阜大学医学部非常勤講師、医療法人社団総文会クリニック足立の非常勤心理士を併任。

2013年1月27日(日)
13時30分～16時30分(13時開場)

じゅうろくプラザ 研修室6(予定)
参加費 3000円

医療、教育、産業領域など様々な現場で活用されている認知行動療法ですが、第3回では、特に産業領域における集団への実施方法について、その効果や基本的な流れについて講義とワークを行います。